

糖尿病のおくすり ～ 薬で糖尿病は治るの？

2021年10月

滝川市立病院

糖尿病療養支援委員会

1. はじめに - なぜ糖尿病は治療が必要なの？

糖尿病により血糖値の高い状態が続くと、長い年月をかけて血管や神経が傷ついていき、さまざまな合併症を引き起こすようになります。糖尿病治療の目的は、血糖値をコントロールする（正常値に近づける）ことで、このような合併症の発症あるいは悪化を防ぐこととなります。



<糖尿病の主な合併症>

小さな血管の合併症（3大合併症）

糖尿病性神経障害 … 他の要因も絡み足切断の原因になります

糖尿病網膜症 … 目の障害。進行すると失明に至ります

糖尿病性腎症 … 腎臓の障害。進行すると透析が必要になります

大きな血管の合併症

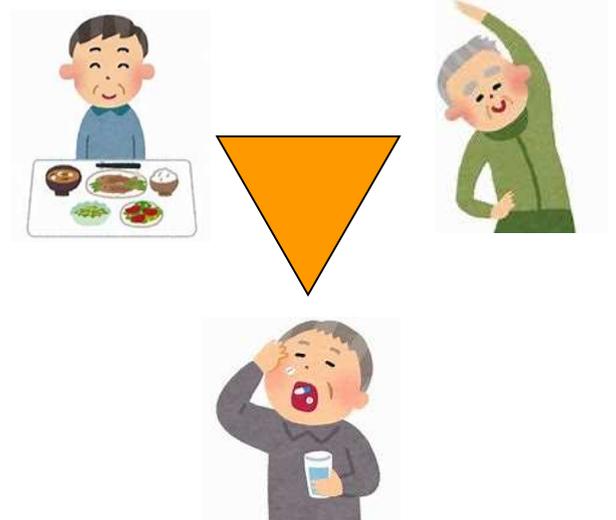
心筋梗塞、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症 など

その他

感染症 など ※新型コロナウイルス感染症の重症化リスクにもなります

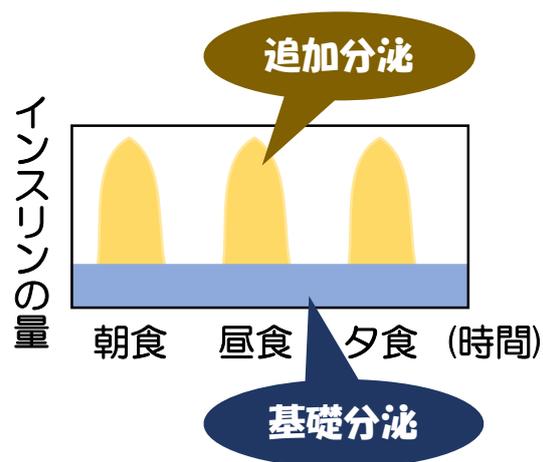
2. どんな治療法があるの？

糖尿病治療は、**食事療法・運動療法・薬物療法**の3本柱により成り立ちます。お薬を使って血糖値を下げるだけでなく、食事療法・運動療法も継続し、血糖値の上がりにくい体質を維持することが、血糖コントロールの成功の鍵となります。



3. 糖尿病のおくすり① - インスリン製剤

インスリン製剤は、体の外から注射でインスリンを補い、血糖値を下げるお薬です。すい臓からのインスリンの分泌には、食後の血糖値上昇により短期的に出るインスリン（追加分泌）と、血糖値を一定に保つため常に少しずつ出ているインスリン（基礎分泌）の2パターンがあります。インスリン製剤は、これらのうちいずれか、あるいは両方を補うことで、健康な人のインスリン分泌に近づけられるようにします。



< 代表的なインスリン製剤 (当院で取り扱いのあるお薬) >

薬剤名	特徴
アピドラ注ソロスター インスリンリスプロBS注ソロスター ノボラピッド注フレックスタッチ ヒューマリンR注ミリオペン	速く短く効くタイプ。 主に食後の高血糖を抑えます。 (追加分泌を補う)
インスリングラルギンBS注ミリオペン トレシーバ注フレックスタッチ ノボリンN注フレックスペン ランタスXR注ソロスター レベミル注イノレット レベミル注フレックスペン ゾルトファイ配合注フレックスタッチ※	ゆっくり長く効くタイプ。 1日を通して血糖値を下げます。 (基礎分泌を補う)
イノレット30R注 ノボラピッド(30, 50)ミックス注フレックスペン ノボリン30R注フレックスペン ヒューマログミックス(25, 50)注ミリオペン ライゾデグ配合注フレックスタッチ	上の2種類が混ざったタイプ。食後の高血糖を抑えるほか、1日を通して効きます。(追加・基礎分泌を両方補う)

※ゾルトファイには、この他にインスリンの分泌を促す薬も配合されています。

★★★ インスリンに関するよくある疑問 ★★★

始めたら一生止められないの？

インスリンの注射は減らしたり止められることもあります。血糖値の良い状態が続くと、すい臓からのインスリン分泌が戻ってきたり、インスリンの効きが回復してくることがあるためです。

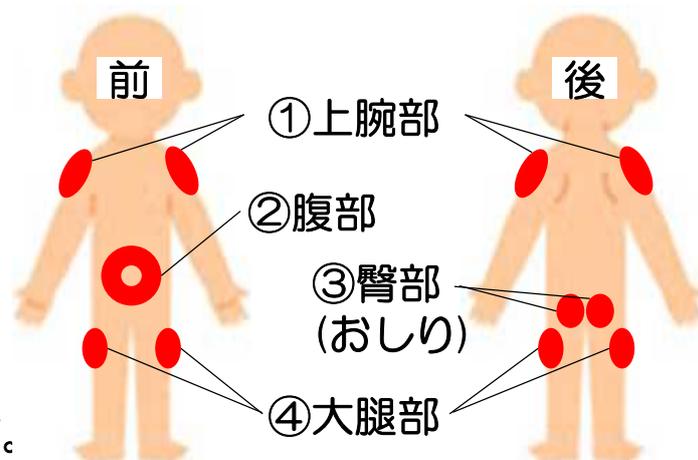
ただしそのためには、食事療法・運動療法や飲み薬なども継続していくことが重要になります。

また、1型糖尿病などインスリン注射が必須な場合もあります。



どこに注射するの？

注射は右図の①～④いずれかの部位を固定して行います（毎回①→②…などとは変えない）。ただし、全く同じ場所に注射し続けると、皮膚がへこんだりふくらんだりすることがあるので、毎回2～3cm程度ずらして注射します。



注射は痛くないの？

採血などで使用する針よりも細く短い針を使用するので、痛みは少なく、感じないこともあります。



4. 糖尿病のおくすり② - インスリンの分泌を促し血糖値を下げる薬

薬剤名	特徴・注意点など
アマリール、グリミクロン、グリメピリド、グリクラジド、他	1日を通して効きます。そのときの血糖値に関係なく効くため、 低血糖 には特に注意が必要です。
グルファスト、ミチグリニド、他	速く短く効きます。 食直前 に服用することで、食後の高血糖を抑えます。
グラクティブ、エクア、テネリア、トラゼンタ、他	1日を通して効きますが、血糖値の高いときを中心に効きます。
ビクトーザ、 自己注射で使用 トルリシティ、オゼンピック、他 	血糖値が高いときを中心に、1日を通して効きます。開始時に下痢・便秘・吐き気などの出ることがあります。

5. 糖尿病のおくすり③ - インスリンの分泌によらず血糖値を下げる薬

薬剤名	特徴・注意点など
メトグルコ、メトホルミン、他	肝臓で糖が作られるのを抑えたり、インスリンの効きを良くします。だるさ・筋肉痛・嘔吐・下痢などが現れることがあります。
アクトス、ピオグリタゾン	インスリンの効きを良くします。むくみの出ることがあります（特に女性、インスリン併用時）。
バイスン、セイブル、ボグリボース、ミグリトール、他	糖の吸収を緩やかにします。食後では効果が落ちるため 食直前 に服用します。低血糖時には必ず ブドウ糖 を摂取する必要があります。
スーグラ、カナグル、フォシーガ、ジャディアンス、他	糖を尿中に排泄させます。発疹の現れることがあります（特に開始後2週間）。尿の量が増えるため、水分をこまめに摂取して脱水の予防を心掛けましょう。

<上2つの表についての補足>

- ・「自己注射で使用」と書かれているもの以外は飲み薬です。
- ・当院で取り扱いのあるお薬を中心に記載しています。
- ・この他、2種類の有効成分からなる配合剤もあります。



6. 低血糖 - すべての糖尿病のお薬に共通する副作用

糖尿病のお薬を使用していると、血糖値が下がり過ぎて**低血糖**になってしまうことがあります。放っておくと最悪の場合死に至ることもある一方で、多くの場合は糖분을補給するとすぐに回復します。日頃から低血糖の症状を把握しておくとともに、糖分の補給できるものを家の中に常備し、外出時も常に携帯しましょう。特に、自動車運転中に低血糖症状を感じたら、なるべく速やかに停車し、糖분을補給しましょう。

<代表的な低血糖症状>

血糖値 (mg/dL)

70 空腹感、冷や汗、震え、動悸、頻脈 など

50 脱力感、倦怠感、目のかすみ、生あくび など

30 異常行動、けいれん、昏(こん)睡 など

※必ずしもこの通りに現れるとは限りません

<低血糖になりやすい場面>



食事の量が減った、時間が乱れた



食事前



薬の量・時間を間違えた



運動後



入浴後



飲酒後

※これらの条件が複数重なると、さらに低血糖のリスクが増します。

<低血糖時の糖分補給の目安>

ブドウ糖：5～10g

砂糖：10～20g

※糖の吸収を緩やかにする薬（ベイスン、セイブル、ボグリボース、ミグリトールなど）を服用中の方は、砂糖では効果がかかなり遅れるため、必ず**ブドウ糖**を摂取してください。

※15分ほど経っても症状が回復しない場合は、再度糖분을補給してください。



7. さいごに - 結局、薬で糖尿病は治るの？

残念ながら、お薬で糖尿病そのものを治すことはできません。しかし、血糖値をコントロールすることで、さまざまな合併症の発症あるいは悪化を防止し、健康な方と同じように過ごすことが出来ます。

糖尿病のお薬とは、基本的に長いお付き合いになります。気になることがございましたら、かかりつけの医師・薬剤師などにお気軽にご相談ください。

